

施策評価シート(平成28年度評価実施)	担当部課名	消防本部	関連部課名	
基本目標	安全で快適な魅力あるまちづくり【都市基盤・安全】			
施策名	消防・救急			
火災に強い魅力あるまちづくりを目指して、防火指導の強化、住民・企業と連携した防火訓練の実施、消防関連施設・設備の充実等を行います。また救急体制の強化を目的とし、救急知識・技術普及のための講習会実施、救急救命士の新規養成、消防緊急情報システム整備等の取組を推進します。				
施策が目指す蒲郡市の将来の姿				
<ul style="list-style-type: none"> ●消防本部・消防団・女性防火クラブ・自主防災会が協力し、火災のない安心して暮らせるまちをつくっています。 ●市民・救急隊・医師との万全の連携により、救命率の高いまちになっています。 ●消防力・救助体制の強化により、災害による被害を最小化できるまちになっています。 				

◆具体化した施策の取り組み実績

1 防火思想の普及

項目	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画
住宅用火災警報器設置率	61%	66%	68%
女性防火クラブの活動充実	イベント・訓練等実施 21回	イベント・訓練等実施 21回	イベント・訓練等実施 19回
防火思想の普及・指導事業	消防訓練 435件 要法令訓練 1,064件	消防訓練 482件 要法令訓練 1,080件	消防訓練 550件 要法令訓練 1,090件

2 救急体制の充実強化

項目	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画
救急救命士養成	2名派遣	2名派遣	2名派遣
救急救命講習	参加人数 4,087人 実施回数 127件	参加人数 3,992人 実施回数 146件	参加人数 4,000人 実施回数 100件
救急車両整備	—	—	高規格救急車新規導入

3 消防力の充実強化

項目	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画
消防施設整備管理事業	257,039千円	28,976千円	42,554千円
防災関連事業	5,535千円	6,310千円	6,046千円

4 救助体制の充実強化

項目	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画
救助隊員育成(救助科)	研修参加 1名	研修参加 1名	研修参加 1名

5 広域連携の強化

項目	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度計画
防災協定の締結	愛知県内広域消防相互応援 東三河地区消防相互応援	愛知県内広域消防相互応援 東三河地区消防相互応援	愛知県内広域消防相互応援 東三河地区消防相互応援
緊急通報装置等受信事業	消防救急情報システム保守 消防通信指令事務協議会負担金	消防救急情報システム保守 消防通信指令事務協議会負担金	消防救急情報システム保守 消防通信指令事務協議会負担金

◆評価指標

指標名	区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	将来目標
消防施設整備管理事業	目標値	300円	300円	300円	300円
	実績値	3,062円	346円		平成35年度
防災関連事業	目標値	60円	60円	60円	60円
	実績値	66円	75円		平成35年度
防火思想の普及・指導事業	目標値	50%	50%	50%	50%
	実績値	40.9%	44.6%		平成35年度

◆指標の説明・考え方

指標名	説明・考え方
消防施設整備管理事業	総事業費(消防車両整備・消防車両維持・消防施設整備・消防施設維持)／人口(外国人登録含む)
防災関連事業	総事業費(防災施設整備・防災施設管理・防災活動・防災訓練)／人口(外国人登録含む)
防火思想の普及・指導事業	消防訓練届出÷要法令訓練件数×100

◆指標の分析

消防施設整備については、「公共施設白書」及び「蒲郡市公共施設マネジメント基本方針」を活用し、本市全体の公共施設のあり方について検討していく中で対応していくことになるが、大地震への懸念が高まる中、広範にわたる災害等から市民の安全・安心な生活を確保するため、計画的に取り組んでいく必要がある。
また、市民の防災意識の向上は、火災の未然防止等において重要となっていることから、火災予防について正しい知識を身に付けさせるため、引き続き実践的で効果のある訓練・指導を実施していく必要がある。

◆今後の方針

施策の課題
消防施設整備については、財源や用地の確保が課題となっているが、施設設計上の工夫等により、災害時の拠点として柔軟に対応できる新しい消防施設を創造し、検討しなければならない。

今後の施策展開
複雑化する災害や高度化・多様化している市民ニーズ等に迅速かつ的確に対応するため、引き続き消防力・救命力の強化に取り組むことはもとより、各事業を計画的に実施し、組織体制の充実を図っていくものであるが、特に、消防施設は災害時の拠点として、市民の安全・安心の確保には必要不可欠なものであるため、適切な維持管理、効率的な運営や再生に取り組んでいくものである。

課長評価	構成事業の進捗状況	B:おおむね計画どおり進行している。
	施策の進め方	B:一部見直しが必要である。
	コメント	訓練・講習等については、概ね計画通りに実施されている。 しかし、消防施設の老朽化が深刻な問題となっている中で、建替等を実施する必要があるが、本市の財政面を考慮するに費用対効果を踏まえた計画の一部見直しが必要である。

部長評価	施策の進捗状況	B:目指す将来像実現に向けておおむね計画どおり進行している。
	コメント	救急出動件数の増加、複雑・多様化する災害、年々強化される予防業務など課題は多いが、最小の職員数でおおむね計画通りに進んでいる。小規模消防本部のため、今後も職員の研修、訓練の強化に取り組み一人ひとりの職員の実力を向上させる必要がある。 さらに施設、設備、車両等の整備を計画的に進め、消防団、自主防災会、女性防火クラブ、危険物安全協会、各事業所等との連携を通じて市民との関係を強化し、蒲郡市全体の消防防災力向上に努めたい。

施策に属する事務事業一覧

総合計画	所管課	番号	事業名	人件費を除く 事業費(千円)	人件費 (参考) (千円)	人工	総合 評価	事業の 種別	市長 マニフェスト	実施 計画
3-8	総務課	463	福利厚生事業	9,252	9,411	1.50	A	カ	1-2	×
3-8	総務課	464	教養研修事業	7,200	9,512	1.50	A	カ	1-2	×
3-8	総務課	465	消防庁舎等管理事業	14,879	11,854	2.10	A	ウ	1-2	×
3-8	消防署	472	緊急通報装置等受信事業	36,225	36,036	6.00	A	ア	—	○